

「椿昇+室井尚^{バッタ}《飛蝗(プロジェクト・インセクト・ワールド)》
修復のため、クラウドファンディングを8月29日(火)に開始。
350万円を目標に10月27日(金)まで支援募集。

ご支援ください!

**巨大バッタの修復・公開
クラウドファンディング
8月29日-10月27日**



水戸芸術館は、当館の収蔵作品であり、2000年代を代表する現代美術作品の一つ、全長50メートルの巨大作品「椿昇+室井尚《飛蝗(プロジェクト・インセクト・ワールド)》」の修復・公開を目指し、クラウドファンディング「READYFOR」で修復費の支援を募るプロジェクトを開始いたします。

つきましては、ぜひ貴媒体にてご取材、ご紹介いただけますようお願いいたします。

■プロジェクト概要

- ・タイトル:「水戸芸術館の巨大バッタ、椿昇+室井尚《飛蝗》の修復・公開へご支援を」
- ・ページURL: <https://readyfor.jp/projects/arttowermito-locust>
- ・実行者: 公益財団法人水戸市芸術振興財団
- ・目標金額: 350万円
- ・募集期間: 2023年8月29日(火)10時～ 10月27日(金)23時
- ・形式: All or Nothing 型/寄付金控除型
※All or Nothing形式は、期間内に集まった支援総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が支援金を受け取れる仕組みです。
- ・資金使途: 椿昇+室井尚《飛蝗(プロジェクト・インセクト・ワールド)》修復・公開費用

「椿昇+室井尚《飛蝗(プロジェクト・インセクト・ワールド)》修復・公開プロジェクト」は、保存に困難が伴う現代美術を文化財として活用し、継承していくことに挑戦する取り組みです。

もともと長期的な活用を前提とされずに制作された作品が、「横浜トリエンナーレ2001」のシンボルとなり、2000年代を代表する日本の現代美術作品の一つとなって水戸芸術館に收藏されました。過去に当館で行われた展示では、子どもたちを含め多くの方々にご覧いただき、楽しんでいただきました。しかしながら本作(通称バッタ)は、本作が求める屋外という展示環境が、そもそも経年劣化を招いてしまう運命にあります。

そこで今回のクラウドファンディングによって、本作の胴体のかたちを取り戻し、頭部の触角を立ち上げて生命感をみなぎらせ、本来あるべき状態の足先を取り戻すという修復を目指します。

ぜひ多くの方々に、巨大なバッタを守りながら親しみ、未来の子どもたちにもスケールの大きな現代美術作品として楽しんでもらえるよう、つなぎ手となっていただきたいと思います。

今回のクラウドファンディングを通じて、下記ステップ2までの修復を目指します。

- ステップ1: 胴体のかたちを取り戻し、頭部から触覚を再び立ち上げ生命感をみなぎらせる

期間: 現在進行形～2023年9月9日(土)～10日(日)

※天候不良の場合は9月16日(土)～18日(月・祝)に延期

- ステップ2: 本来あるべき状態の足先を取り戻す

期間: 9月中旬から2024年春



2023年3月点検時のバッタ



シリコンが付着したバッタの触角
(2023年3月)



付替えのため元の触角の縫合を
解いている様子 (2023年3月)



汚れが見られるバッタの足先 (2023年3月)



2023年3月点検時のバッタ胴体内部

■お問い合わせ先

ご掲載について: 水戸芸術館事務局広報係 Email: kouhou@arttowermito.or.jp / TEL: 029-227-8111 (代表・9:30～18:00 / 月曜休館)

プロジェクトについて: 水戸芸術館現代美術センター(担当: 竹久) Email: atmcaac@arttowermito.or.jp / TEL: 029-227-8120